

特定非営利活動法人海の自然史研究所
第 6 期 事業報告

■事業の概況

第 6 期も第 5 期に引き続き、教育事業では、海の科学教育プログラム MARE の全国水族館や海のビジターセンターとの協働による実施普及活動をおこないました。また新しい取り組みとして、サイエンスコミュニケーター養成プログラム COSIA のティーチャーズガイドの制作や海洋リテラシープログラムと位置付けたサンゴ礁学習プログラムの実践普及および新しい海洋リテラシープログラム開発を進めました。

研究事業では、学術研究分野および教育普及啓発に関する活動で一定の業績を挙げることができました。特に、沖縄県久米島におけるWWF-Japanによる地域が活性化する南西諸島の生物多様性保全モデル活動の展開と普及「久米島応援プロジェクト」への参加では、新種発見につながる研究成果があがるものとなりました。

■教育事業概要

1. MARE の普及および実践

1) 日本版 MARE 制作

2011 年 3 月末までに、新たに 5 アクティビティのティーチャーズガイドの完成を目指しています。

2) MARE 拠点の設置

MARE を普及していく拠点の設置先として、北海道帯広の漂着アザラシの会との連携をすすめています。

3) MARE 指導者養成講座(ワークショップ)の開催

東京・大阪・帯広・札幌にて MARE リーダーの養成講座を開催しました。

4)「海を学ぼうプログラム」の開催

日本各地の水族館や海のビジターセンターで MARE を活用した海を学ぼうプログラムを実施しました。

以下、3)および 4)の実施実績です。

2010 年 1 月	東京都	日本財団ビル(MARE リーダー養成ワークショップ)
2010 年 2 月	沖縄県	石垣小学校 6 年生 2 クラス授業
2010 年 2 月	大阪市	中央青年センターにて(MARE リーダー養成ワークショップ)
2010 年 2 月	愛知県	名古屋港水族館
2010 年 6 月	千葉県	千葉県立中央博物館分館 海の博物館との協働 長者小学校授業
2010 年 8 月	埼玉県	入間市青少年活動センター
2010 年 8 月	東京都	国立科学博物館 2 クラス
2010 年 8 月	北海道	帯広博物館(帯広百年記念館)
2010 年 8 月	北海道	おびひろ動物園
2010 年 8 月	北海道	帯広百年記念館(MARE リーダー養成ワークショップ)
2010 年 9 月	北海道	札幌市かでの 2.7(MARE リーダー養成ワークショップ)
2010 年 11 月	宮城県	南三陸町自然環境活用センターとの協働 伊里前小学校 4 年生授業
2010 年 12 月	愛知県	藤前干潟 稲永ビジターセンター

2.「この先、海です」プロジェクト

海の環境保全のため、海に排水が直接つながる雨水溝にゴミを捨てないように意識する、また生活周辺からの排水に気を配るようにすることを目的とした環境教育プログラム「この先、海ですプロジェクト」を、以下の通り実施しました。

2010 年 2 月	沖縄県	読谷村立読谷小学校(5 年 1 組, 2 組, 3 組)
2010 年 6 月	沖縄県	読谷村立読谷小学校(5 年 1 組, 2 組, 3 組)
2010 年 4 月	DoDDS Okinawa	Zukeran Elementary School
2010 年 8 月	埼玉県	入間市青少年活動センター
2010 年 11 月	宮城県	南三陸町立伊里前小学校(4 年生)

3. COSIA(Communicating Ocean Science Informal Audience)コースの開発

水族館や博物館など学校以外の自然科学関係施設にて、子どもたちに科学を教えられる人材=サイエンスコミュニケーターの養成プログラム COSIA のティーチャーズガイドの制作をおこない、2011年3月に完成の予定です。

制作段階での講習トライアルを、三重大学での特別授業、教員更新講習会(7月・三重)、およびサイエンスアゴラ(11月・東京)にておこないました。

4. 海洋リテラシープログラムの実践普及と新規開発

東京および沖縄の高校生たち向けにサンゴ礁学習プログラムの実践をおこないました。

また、磯焼けとサケの回遊をテーマとした新しい海洋リテラシープログラムの制作を進め、今後フィジビリティスタディをすすめる予定です。また、3月までに昆布とイカをテーマとしたプログラム開発を行う予定です。

■ 研究事業計画概要

1. 学術研究業績

2010年度は、以下の論文等と学会講演の研究業績を挙げました。

〈論文など〉

1. 大塚 攻・藤田喜久・下村通誉, 2010. 海底洞窟と近底層における甲殻類の多様性と進化. タクサ, 28: 33-40.
2. 藤田喜久・北村崇明, 2010. 宮古島崎田川にて採集されたツノナガスマエビとニセモクズガニ. 宮古島市総合博物館紀要, 14: 115-121.
3. Obuchi, M., Fujita, Y., Nakano, Y., Uehara, T., & Motokawa, T., 2010. Reproductive biology and early life history of the hermaphroditic feather star *Dorometra sesokonis* (Echinodermata: Crinoidea). *Marine Biology*, 157: 1191-1201.
4. 藤田喜久, 2010. ヤシガニと沖縄の人々の暮らし. *CANCER*, 19: 41-51.
5. 藤田喜久・川原 剛・丹羽 信彰・諸喜田茂充, 2010. 琉球列島から初めて見つかったヒルミミズ類について(環形動物門:環帯綱:ヒルミミズ亜綱). *沖縄生物学会誌*, 48: 25-33.
6. Ikeda, H., Ito, A., Shokita, S., & Fujita, Y., 2010. Larval stages of *Macrobrachium lepidactyloides* (De Man, 1892) (Crustacea:Decapoda: Caridea: Palaemonidae) described from laboratory-reared material. *The Biological Magazine, Okinawa*, 48: 45-75.
7. 藤田喜久・太田格, 2010. 沖縄県八重山諸島で捕獲されたナミハタの胃内容物中から得られたヨロンエビ. *沖縄生物学会誌*, 48: 107-111.
8. Fujita, Y., 2010. Larval stages of the crinoid-associated squat lobster, *Allogalathea elegans* (Adams & White, 1848) (Decapoda: Anomura: Galatheididae) described from laboratory-reared material. *Crustacean Research*, 39: 36-52.
9. Fujita, Y., & Clark, P. F., 2010. The larval development of *Chirostylus stellaris* Osawa, 2007 (Crustacea: Anomura: Chirostylidae) described from laboratory reared material. *Crustacean Research*, 39: 53-64.

〈学会発表〉

1. 藤田喜久・岸本和雄・香村眞徳, 2010. 宮古島と波照間島の湧水に生育するチスジノリ属藻類. 沖縄生物学会第48回大会, 名桜大学, 名護.
2. 藤田喜久・David Weese, 2010. 宮古島の洞穴地下水域から得られた2種のヒメヌマエビ属エビ類. 日本動物分類学会第46回大会, 国立科学博物館分館, 東京(2010年6月5~6日).
3. 木暮 陽一・藤田 喜久・成瀬 貫, 2010. 本邦南西海域におけるヒトデ相の解明に向けて:2009年度久米島海洋生物合同調査「KUMEJIMA2009」の概要. 日本動物分類学会第46回大会, 国立科学博物館分館, 東京(2010年6月5~6日).
4. 上野大輔・長澤和也, 海産ハゼ科魚類から得られたペンネラ科カイアシ類3種. 日本動物分類学会第46回大会, 国立科学博物館分館, 東京(2010年6月5~6日).
5. 都築章子・藤田喜久・今宮則子・平井和也・平賀伸夫・小川貴之, 2010. 米国の科学博物館で開発されたCOSIA(科学コミュニケーション実践講座)の試行. 第34回 日本科学教育学会, 広島(2010年9月11~12日).
6. Tsuzuki, A., & Suzuki, M., 2010. A Study of Science and Technology Communication at Higher Education Institutions in Japan. International Conference of East-Asian Science Education (EASE), Taipei, Taiwan.
7. 上野大輔, 小さな甲殻類カイアシ類の性的二型-寄生性種の場合. 「水生生物の性的二型:適応と進化」シンポジウム, 東京大学大気海洋研究所, 千葉県柏市(2010年10月19?20日).

8. 藤田喜久, 2010. 趣旨説明: ヤシガニと人々の暮らし (一般公開シンポジウム「日本におけるヤシガニ研究の現在: ヤシガニ資源保全へのアプローチ」. 第48回日本甲殻類学会大会, 沖縄 (琉大: 2010年11月12~14日).
9. 藤田喜久, 2010. 小さなヤシガニはどこにいる? (一般公開シンポジウム「日本におけるヤシガニ研究の現在: ヤシガニ資源保全へのアプローチ」. 第48回日本甲殻類学会大会, 沖縄 (琉大: 2010年11月12~14日).
10. 藤田喜久・大澤正幸・奥野淳兒・駒井智幸・成瀬貫, 2010. 沖縄島大浦湾における十脚甲殻類の種多様性研究: 調査の概要と意義. 第48回日本甲殻類学会大会, 沖縄 (琉大: 2010年11月12~14日).
11. 大澤正幸・駒井智幸・成瀬貫・藤田喜久, 2010. 沖縄島大浦湾から採集された砂泥底内在性の口脚・十脚目甲殻類. 第48回日本甲殻類学会大会, 沖縄 (琉大: 2010年11月12~14日).
12. 奥野淳兒・世古徹・津波古健・白川直樹・山田祐介・藤田喜久, 2010. 沖縄島大浦湾におけるテナガエビ科カクレエビ亜科エビ類の多様性. 第48回日本甲殻類学会大会, 沖縄 (琉大: 2010年11月12~14日).
13. 下村通誉・藤田喜久・成瀬貫, 2010. 久米島の海底洞窟から発見されたミクトカリス目の1未記載種. 第48回日本甲殻類学会大会, 沖縄 (琉大: 2010年11月12~14日).
14. 藤田喜久・David Weese, 2010. 石垣島から得られたチカヌマエビの抱卵個体と幼生形態. 第48回日本甲殻類学会大会, 沖縄 (琉大: 2010年11月12~14日).
15. 上野大輔・長澤和也, 日本産後鰓類から得られた Splanchnotrophidae 科寄生性カイアシ類について. 第48回日本甲殻類学会大会, 沖縄 (琉大: 2010年11月12~14日).
16. 小川貴之・平賀伸夫・藤田喜久・都築章子・今宮則子・平井和也・鈴木真理子, 2010. 高等教育における COSIA (科学コミュニケーション実践講座)「科学の本質と実践」の試行と評価. 日本理科教育学会第56回東海支部大会. 岐阜 (岐阜聖徳大学)
17. 藤田喜久・成瀬貫, 2010. 沖縄における生物多様性研究: その意義と社会的インパクト. 日本サンゴ礁学会第13回大会 (筑波, 2010年12月2日~5日).
18. 木村匡・下池和幸・鈴木豪・仲与志勇・塩入淳生・藤田喜久・山野博哉・浪崎直子・横井謙典・小笠原敬・安村茂樹, 2010. 久米島沖の中深度に生息する造礁サンゴ大群集. 日本サンゴ礁学会第13回大会 (筑波, 2010年12月2日~5日).
19. 藤田喜久, 2010. 絶滅危惧種ヤシガニの保護・保全: 地域単位で保全策を考える. 自由集会「サンゴ礁保全について研究者はステークホルダーとどのように協働できるか ~社会は研究者に何をもとめているのか~」. 日本サンゴ礁学会第13回大会 (筑波, 2010年12月2日~5日).
20. 藤田喜久, 2010. 沖縄での種多様性研究とその成果を活かしたアウトリーチ活動の実践. 公開シンポジウム「サンゴ礁の生物多様性を支える分類研究とその展開」. 日本サンゴ礁学会第13回大会 (筑波, 2010年12月2日~5日).
21. 藤田喜久・今宮則子・平井和也・都築章子, 2010. 海の科学を伝える技術の習得: 米国で開発された科学コミュニケーション実践講座. 日本サンゴ礁学会第13回大会 (筑波, 2010年12月2日~5日).
22. Maneepitaksanti, W., Uyeno, D., Madinabeitia, I., Laoprasert, T., Tang, D., & Nagasawa, K., 2010. New records of *Caligus epidemicus* (Copepoda: Caligidae) from fish hosts from Thailand and Japan. The 1st International Workshop on Symbiotic Copepoda, Cabrillo Marine Aquarium, San Pedro, California (December 4 to 8).
23. Nagasawa, K., & Uyeno, D., 2010. Utilization of alien freshwater fishes by the parasitic cicoeoida *Neoergasilus japonicus* (Ergasilidae) on Okinawa-jima Islands, Japan. The 1st International Workshop on Symbiotic Copepoda, Cabrillo Marine Aquarium, San Pedro, California (December 4 to 8).
24. Okawachi, H., Uyeno, D., Ogino, K., & Nagasawa, K., 2010. Redescription of *Peniculus minuticaudae* Shiino, 1956 (Copepoda: Pennellidae) from marine aquarium fishes in Japan, with observations on the occurrence in an aquarium. The 1st International Workshop on Symbiotic Copepoda, Cabrillo Marine Aquarium, San Pedro, California (December 4 to 8).
25. Uyeno, D., & Nagasawa, K., 2010. A species of the family Chondracanthidae (Copepoda: Poecilostomatoida) parasitic on triplefins (Actinopterygii: Tripterygiidae) in Japanese waters. The 1st International Workshop on Symbiotic Copepoda, Cabrillo Marine Aquarium, San Pedro, California (December 4 to 8).
26. Uyeno, D., & Nagasawa, K., 2010. An undescribed species of the genus *Orbitacolax* (Copepoda: Bomolochidae) from Japanese waters, with a note on morphological characters useful for species identification in the genus. The 1st International Workshop on Symbiotic Copepoda, Cabrillo Marine Aquarium, San Pedro, California (December 4 to 8).

〈一般向け講演など〉

1. 藤田喜久「都市住民から見たサンゴ礁:守るべきサンゴ礁とは何か?」。パネル座談会「サンゴ礁保全って何?」, 沖縄県立博物館(2010年2月27日)。
2. 藤田喜久「クリスマス島カニある記」。海研ゼミ, 北谷町(2010年3月20日)。
3. 藤田喜久「動物の世界を見渡す:生物多様性」。小笠原ビジターセンター, 父島, 東京都(2010年6月24日)。
4. 藤田喜久「宮古の生物が危ないー外来生物の影響」。宮古島市総合博物館, 宮古島市(2010年8月14日)。
5. 藤田喜久「地下水と生物」。白保小学校(5年生), 石垣市(2010年10月14日)。
6. 上野大輔「生きる知恵『寄生』・海の生き物達とともに」。埼玉県私立高校の修学旅行生を対象とした講演, 沖縄県(2010年10月26日)。
7. 藤田喜久「大浦湾のエビ・カニ類の種多様性」。講演会「大浦湾の自然-海の生きものたち」, 名護市立中央図書館, 名護市(2010年11月7日)。
8. 藤田喜久「宮古島におけるヤシガニの分布と生態について」。宮古島市ヤシガニ保護条例策定協議会, 宮古島市役場(2010年11月18日)。
9. 藤田喜久「科学コミュニケーターに科学観を問う」。サイエンスアゴラ2010(2010年11月20日)。
10. 藤田喜久「ヤシガニと沖縄の人々の暮らし」, 講演会「ヤシガニ資源やその文化を次世代に ~ 今、私たちは何をすべきか? ~」。サザンプラザ海邦 サンプラホール, 那覇(2010年11月25日)。
11. 藤田喜久「ヤシガニと沖縄の人々の暮らし」, 講演会「ヤシガニ資源やその文化を次世代に ~ 今、私たちは何をすべきか? ~」。沖縄県宮古合同庁舎, 宮古島市(2010年12月9日)。
12. 藤田喜久「種多様性を解明する:生物多様性研究の現状と今後の展開」, CST 講演会。滋賀大学(2010年12月19日)。

■その他

当 NPO 法人の活動を広報する website を制作・リリースしました。